

事務事業名	楡形図書館運営事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12442																											
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	市立図書館	課長名	滝沢 美保																											
			所属担当	楡形図書館	担当者名	上田 弥生																											
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 10	項 04	目 04	細目 050	細々目 05																							
政策	22	生涯学習ネットワークの整備充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金																													
施策	35	生涯学習システムの推進																															
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度)		法令根拠	図書館法 南アルプス市立図書館条例																													
事業概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 市内図書館の中央館的機能を持つ図書館として円滑な運営に努め、市民の読書活動や学習活動を高める。 ・資料の貸出・返却・予約・リクエスト・相互貸借 ・レファレンスサービス(調査相談) ・AVブース利用、PC利用、学習室利用 ・館内の掲示、案内、壁面飾り		事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)																														
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨時職員賃金</td> <td>34,809</td> <td>手数料</td> <td>1,245</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>709</td> <td>委託料</td> <td>199</td> </tr> <tr> <td>燃料費</td> <td>95</td> <td>使用料</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>74</td> <td>リース料</td> <td>308</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>228</td> <td>計</td> <td>37,696</td> </tr> </tbody> </table>								項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	臨時職員賃金	34,809	手数料	1,245	消耗品費	709	委託料	199	燃料費	95	使用料	29	印刷製本費	74	リース料	308	通信運搬費	228	計
項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)																														
臨時職員賃金	34,809	手数料	1,245																														
消耗品費	709	委託料	199																														
燃料費	95	使用料	29																														
印刷製本費	74	リース料	308																														
通信運搬費	228	計	37,696																														

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容 開館日数 285日 貸出資料数 199,424冊 27年度活動予定 開館日数 285日 貸出資料数 205,406冊	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア開館日数</td> <td>日数</td> </tr> <tr> <td>イ貸出資料数</td> <td>点数</td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア開館日数	日数	イ貸出資料数	点数		
名称	単位											
ア開館日数	日数											
イ貸出資料数	点数											
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア図書館利用登録者数</td> <td>人数</td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア図書館利用登録者数	人数				
名称	単位											
ア図書館利用登録者数	人数											
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしているのか、どのように変えるのか)	図書館が暮らしに役立つことを理解し、館内インターネット利用件数、レファレンス件数、資料予約数が増える	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア館内インターネット利用件数</td> <td>件数</td> </tr> <tr> <td>イレファレンス(調査相談)件数</td> <td>件数</td> </tr> <tr> <td>ウ資料予約件数</td> <td>件数</td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア館内インターネット利用件数	件数	イレファレンス(調査相談)件数	件数	ウ資料予約件数	件数
名称	単位											
ア館内インターネット利用件数	件数											
イレファレンス(調査相談)件数	件数											
ウ資料予約件数	件数											
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	図書館利用者の拡大	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア新規図書館利用登録者数</td> <td>人数</td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア新規図書館利用登録者数	人数				
名称	単位											
ア新規図書館利用登録者数	人数											

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
事業費	内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	8,927	7,000					
		一般財源	千円	27,853	29,997	37,696	40,155	40,155	40,155	
		事業費計(A)	千円	36,780	36,997	37,696	40,155	40,155	40,155	0
人件費	コスト	正規職員従事人数	人	5	5	4	4	4	4	
		延べ業務時間	時間	7,648	7,232	5,557	5,557	5,557	5,557	
		人件費計(B)	千円	34,806	32,913	25,290	25,290	25,290	25,290	0
		(A)+(B)	千円	71,586	69,910	62,986	65,445	65,445	65,445	0
活動指標	指標	ア 日数		286.0	282.0	285.0	285.0	285.0	285.0	
		イ 点数		203,693.0	187,977.0	193,616.0	199,424.0	205,406.0	211,568.0	
		ウ								
対象指標	指標	ア 人数		20,043.0	20,677.0	21,297.0	21,935.0	22,593.0	23,270.0	
		イ								
		ウ								
成果指標	指標	ア 件数		1,894.0	1,661.0	1,710.0	1,761.0	1,813.0	1,867.0	
		イ 件数		710.0	933.0	960.0	988.0	1,017.0	1,047.0	
		ウ 件数		5,453.0	5,194.0	5,349.0	5,509.0	5,674.0	5,844.0	
上位成果指標	指標	ア 人数		850.0	886.0	912.0	939.0	967.0	996.0	
		イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	昭和59年6月に楡形図書館が誕生。町民の要望により平成11年10月に現在の地に新図書館オープンする。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	図書館ホームページを開設し図書館サービスをインターネット上で行うようになった。今後は、電子書籍の出版状況を把握し、市民にどのように提供していくか検討を行っていく必要がある。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	1枚の利用カードで市内の図書館が利用でき、他の図書館資料も地域の図書館で借りることができる。また、図書館ホームページから資料の予約ができて便利だといわれている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	図書館にない資料は、市内県内から取り寄せることができることや、調べたいことに図書館職員がいつでも応じることをアピールしている。平成25年度には市制10周年の企画展を開催し、南アルプス市と図書館の10年のあゆみを掲示し、多くの市民を集客した。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	・図書館システムの更新をおこない、利用者サービスを拡大した。 ・学習席を8席増やし、多くの学習席利用希望者に対応できるようにした。

事務事業名	楡形図書館運営事業	所属部	教育委員会	所属課	市立図書館
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 市民の読書活動や学習活動を支える生涯学習施設として施策に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 図書館は営利を目的にした施設ではない。市民が必要とする資料や情報を提供し、市民の生活を豊かにすることを目的にしているため市の運営が妥当だと考える。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 図書館は暮らしに役立ち、市民の中には図書館が生活の一部になっている方もいるので、維持・管理を継続していく必要がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 図書館サービスが全市民に浸透しているとはいえないので、今まで以上のPRが必要である。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 市民が暮らしに必要な情報を得たり、課題解決のための調べ場所を失う。 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 多くの利用者が読書活動や学習活動ができなくなり休止はできない
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 利用者に満足してもらえる図書館サービスを提供するには、削減の余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 窓口業務以外に、資料提供までの業務を事務室内で行っているため削減することが出来ない。図書館サービスの低下につながる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 図書館は、だれでもが利用できる施設であることを市民に知らせ、多くの市民が利用できるように充実させていく。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成26年度は、時間延長の試行を行い時間帯ごとの利用者数を確認した。また、延長時の来館者にアンケートを実施し、今後の検討材料とした。今後は、多くの市民が利用しなくなる魅力的な図書館を目指して、中央館としての機能の充実を図っていく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
① 多くの市民が図書館を利用するようPRを積極的に行う。 ② 資料の展示や掲示を魅力あるものにする。 ③ 図書館に来館できない人にも等しくサービスが受けられるようにする。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
① 広報、図書館通信、ホームページ等を通して、情報・サービスの発信を行う。 ② 利用者が資料を手に取りやすいように、展示や掲示を工夫する。 ③ ボランティアに協力してもらい、来館できない人に宅配サービスを推進していく。	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>③</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑧	コスト削減優先度評価結果	③																	
成果優先度評価結果	⑧																					
コスト削減優先度評価結果	③																					